



命の大切さについて考えてください

昨日、三重県名張市の市立中学校で、男子生徒が、同じ学年の男子生徒から包丁で切りつけられ、加害生徒が傷害容疑で逮捕されるという、悲しい事件が起きました。事件の背景など、報道されていること以外は何も分かりませんが、学校現場で働く者として、やりきれない気持ちでいっぱいです。昨年11月には、愛知県で事件がありました。数か月のうちに2件も、中学校内で刃物による事件が起きたことについて、私たちは、他人事とせず、自分たちなりに考えなければならないと思っています。

皆さんには、もう一度、命の大切さについて考えてほしい。「希望が丘 第30号」にも書きましたが、皆さんがこの世に生を受けたのは、奇跡的なことなのです。だからこそ、皆さんの誕生を、まわりの方たちは、この上なく喜び、祝福してくれたことと思います。そして、これまでの10数年、大切に育ててこられたのです。また、第30号にはこうも書きました。「(前略) その一方で、命が永遠ではないことも事実です。これは、しかたのないことです。しかし、永遠ではないからこそ、今を一生懸命生きることが、命を大切にしているということだと思います。どんな理由があっても、命を奪うことは許されません。人の命も自分の命も、かけがえのないものです。(後略)」

世の中は、自分が思うようにいくことばかりではありません。つらいことや腹が立つこともあるかもしれません。自分が正しいと思ってやっていることでも、人にはそう思ってもらえないこともあるかもしれません。それでも、投げやりにはなりません。自分のことを分かってくれる人、自分のことを支えてくれる人が必ずいます。困ったときは、遠慮せず、恥ずかしがらず、堂々と、誰かを頼りたいんです。そしていつか、自分にエネルギーがたまったら、困っている誰かの支えになってあげてください。そうやって支え合う人間関係を育ててくれることを願っています。

いいですか？皆さんの命は、かけがえのないものなのです。誰の命も、等しくみな大切です。自分の命も人の命も、大切にしてください。どうかこのことは、一生忘れないでください。

【おうちの方へ】

繰り返しになりますが、今回の事件を受け、本校では、これまで以上に全教職員で日頃の生徒の様子に気を配り、安全で安心できる教育活動に取り組んで参ります。お子様の様子で気になることがありましたら、いつでも学校へご相談ください。

<三中生のちょっとした話>

○ 今日、校区内の小学校の教頭先生から、うれしいメールが届きました。以下は、そのメール本文からの文章です。「メールで失礼します。本校の◇年生が、下校途中に友だちとけんかをして困っていたところ、下校中に通りがかった三豊中学校の生徒さんが声をかけてくれたそうです。その生徒さんは、困っていた子に声をかけて、その子の家まで送り届けてくれたそうです。生徒さんの名前は分かりませんが、□□方面だそうです。自分を助けて、家まで送り届けてくれたことに、とてもうれしかったと本人から申し出がありました。何かの機会に紹介してあげてください。」

喜んでもらえて、よかったですね。とても、心が温かくなる出来事でした。



(無料イラスト「イラストAC」より)